

14時30分解禁

平成23年11月 全国百貨店売上高概況

平成23年12月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,465億円余
2. 前年同月比	-1.9% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 254店 (平成23年10月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,417,039㎡ (前年同月比:-0.3%)
5. 総従業員数	88,107人 (前年同月比:-5.8%)
6. 3か月移動平均値	4-6月 -1.2%、5-7月 -0.7%、6-8月 -0.4%、 7-9月 -1.2%、8-10月 -1.5%、9-11月 -1.6%

[参考] 平成22年11月の売上高増減率は-0.5% (店舗数調整後)

【11月上の特徴】

5か月連続の前年同月比マイナスであるが、減少幅は1%台に収まっており、景気の先行きに不透明感はあるものの、足元の状況としては比較的堅調に推移した。なお、基調を示す3か月移動平均値は、6期連続で2%未満の減少率と4-6月以降ほぼ横ばい状況にある。

11月は、月の前半まで全国的に気温が高く降雨量の多い不安定な天候が続いたため、最盛期を迎えたコートやブーツなど主力の冬物ファッション商材が苦戦をしたほか、入店客数にも影響を受けた。一方、大都市旗艦店を中心に高級時計や輸入特選雑貨などの高額商材が好調を維持したことや、下旬からの冷え込みで防寒衣料の動きが活発化するなど復調の兆しも見えたが、中旬までの不振を全て挽回するまでには至らなかった。

具体的な動向としては、復興需要を背景に東北地区が好調(仙台:+11.3%、東北:+1.7%)を維持したこと、新店・増床効果から大阪地区が依然プラス基調(+0.4%)にあること、歳暮ギフト前半戦はばらつきはあるものの総じて比較的堅調であったこと、回復途上の訪日外国人は前の月と同水準(売上高:-7.4%、購買客数:-19.4%)で推移したこと、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇ 上旬から中旬にかけてこの時期としては暖かい空気に覆われやすく、全国的に気温が平年を上回る日が多かった。また、上・中旬まで低気圧や南からの湿った気流の影響を受け、西日本を中心に曇りや雨の日が多かった。
- (2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日(" ±0日)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した：32店、②変化なし：33店、③減少した：66店、④不明：42店
- (5) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上)
①増加した：22店、②変化なし：45店、③減少した：35店、④不明：71店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する：20店、②変化なし：77店、③減少する：26店、④不明：50店

全国百貨店 売上高速報 2011年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 () が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	546,500,105	100.0	-1.9 (-1.6)
10都市	354,715,868	64.9	-1.8 (-0.7)
札幌	12,929,856	2.4	2.2
仙台	7,901,301	1.4	11.3
東京	137,367,840	25.1	-3.0 (-3.9)
横浜	32,017,737	5.9	-0.5 (-1.2)
名古屋	30,315,292	5.5	-3.9
京都	20,966,593	3.8	-2.3
大阪	70,185,214	12.8	0.4 (3.9)
神戸	14,468,869	2.6	-4.6
広島	12,361,165	2.3	-0.2
福岡	16,202,001	3.0	-5.7 (14.5)
10都市以外の地区	191,784,237	35.1	-2.1 (-3.3)
北海道	2,969,291	0.5	-3.4
東北	9,678,366	1.8	1.7 (-12.3)
関東	93,475,192	17.1	-1.5 (-1.7)
中部	14,580,670	2.7	-4.0
近畿	18,513,869	3.4	-3.1
中国	13,076,800	2.4	-4.7
四国	9,870,049	1.8	-2.4
九州	29,620,000	5.4	-2.1 (-4.3)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	546,500,105	100.0	-1.9 (-1.6)
紳士服・洋品	42,293,432	7.7	-2.2 (-1.3)
婦人服・洋品	122,640,075	22.4	-2.8 (-3.1)
子供服・洋品	11,932,885	2.2	-0.7 (0.3)
その他衣料品	13,890,891	2.5	-3.7 (-3.7)
衣 料 品	190,757,283	34.9	-2.6 (-2.6)
身のまわり品	59,190,023	10.8	-1.7 (-1.5)
化粧品	29,316,207	5.4	-1.5 (-1.5)
美術・宝飾・貴金属	23,496,598	4.3	0.0 (0.5)
その他雑貨	21,321,963	3.9	-4.5 (-4.3)
雑 貨	74,134,768	13.6	-1.9 (-1.7)
家 具	6,668,065	1.2	-3.4 (-3.1)
家 電	2,932,831	0.5	13.5 (13.5)
その他家庭用品	18,108,161	3.3	-0.9 (-1.0)
家 庭 用 品	27,709,057	5.1	-0.2 (-0.2)
生 鮮 食 品	35,694,574	6.5	-3.5 (-3.4)
菓 子	37,822,060	6.9	0.9 (2.3)
惣 菜	33,103,780	6.1	4.4 (5.3)
その他食料品	57,315,910	10.5	-3.0 (-3.0)
食 料 品	163,936,324	30.0	-0.8 (-0.3)
食 堂 喫 茶	14,044,909	2.6	-1.8 (0.3)
サ ー ビ ス	5,848,742	1.1	-6.1 (-7.2)
そ の 他	10,878,999	2.0	-7.0 (-8.3)
商 品 券	22,746,866	4.2	-19.1 (-19.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.8% (店舗数調整後／5か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.1% (〃 ／4か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.8	-1.1	5か月連続マイナス
札幌	2.2	0.1	7か月ぶりプラス
仙台	11.3	0.1	7か月連続プラス
東京	-3.0	-0.8	5か月連続マイナス
横浜	-0.5	0.0	2か月ぶりマイナス
名古屋	-3.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
京都	-2.3	-0.1	9か月連続マイナス
大阪	0.4	0.0	2か月連続プラス
神戸	-4.6	-0.1	7か月連続マイナス
広島	-0.2	0.0	5か月連続マイナス
福岡	-5.7	-0.1	40か月連続マイナス
10都市以外の地区	-2.1	-0.7	4か月連続マイナス
北海道	-3.4	0.0	13か月連続マイナス*
東北	1.7	0.0	2か月連続プラス*
関東	-1.5	-0.3	2か月ぶりマイナス
中部	-4.0	-0.1	9か月連続マイナス
近畿	-3.1	-0.1	2か月連続マイナス
中国	-4.7	-0.1	5か月連続マイナス*
四国	-2.4	0.0	2か月ぶりマイナス
九州	-2.1	-0.1	4か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、惣菜が7か月連続のプラス、美術・宝飾・貴金属が2か月ぶり(前年並)、菓子が3か月ぶり、家電が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.9	—	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.2	-0.2	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-2.8	-0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-0.7	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-3.7	-0.1	45か月連続マイナス
衣料品	-2.6	-0.9	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-1.7	-0.2	4か月連続マイナス
化粧品	-1.5	-0.1	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	0.0	0.0	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-4.5	-0.2	48か月連続マイナス*
雑貨	-1.9	-0.3	2か月ぶりマイナス
家具	-3.4	0.0	4か月連続マイナス
家電	13.5	0.1	4か月ぶりプラス
その他家庭用品	-0.9	0.0	4か月連続マイナス
家庭用品	-0.2	0.0	4か月連続マイナス
生鮮食品	-3.5	-0.2	5か月連続マイナス*
菓子	0.9	0.1	3か月ぶりプラス*
惣菜	4.4	0.3	7か月連続プラス*
その他食料品	-3.0	-0.3	2か月ぶりマイナス*
食料品	-0.8	-0.2	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-1.8	0.0	4か月連続マイナス
サービス	-6.1	-0.1	12か月連続マイナス
その他	-7.0	-0.1	5か月連続マイナス
商品券	-19.1	-1.0	9か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年12月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,373億円余
2. 前年同月比	-3.0% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.3%(88.6%) : 非店頭-22.6%(11.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	915,720㎡ (前年同月比:-3.1%)
6. 総従業員数	19,122人 (前年同月比:-8.8%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 -3.1%、5-7月 -1.7%、6-8月 -1.2%、 7-9月 -2.5%、8-10月 -2.8%、9-11月 -2.8%

[参考] 平成22年11月の売上高増減率は0.3%

【11月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、各週末の天候不順が大きく影響し都内全店で前年を下回った。平均すると概ね5%~6%の減少率であった。
- (2) 東京地区の商況を分解すると、店頭売上は前年をクリア(+0.3%)したが、特設会場での催事や外商など、非店頭売上が大幅減少(-22.6%)し全体を押し下げる結果となった。
- (3) 高めに推移した気温の影響で、特にコート、セーター、マフラー、機能性肌着等の防寒衣料が苦戦した一方、それ以外の衣料分野は比較的堅調であった。
- (4) 高額商材の内、特に高級時計については、100万円を超える価格帯を中心に活発な動きがみられ、二桁増となる店も多くあった。
- (5) 季節商材である「歳暮」「おせち」「クリスマスケーキ」の11月の受注状況は、「絆」消費を背景に、都内各店で積極的に訴求展開した効果から概ね好調に推移した。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 2店、②変化なし: 5店、③減少した: 13店、④不明: 1店
- (3) 11月歳時記 (文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮) の売上 (同上)
①増加した: 2店、②変化なし: 6店、③減少した: 5店、④不明: 8店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 2店、②変化なし: 13店、③減少する: 4店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年11月

※店舗数調整後 () が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	137,367,840	100.0	-3.0 (-3.9)
紳士服・洋品	12,060,924	8.8	0.5 (0.2)
婦人服・洋品	26,812,559	19.5	-6.1 (-8.8)
子供服・洋品	2,136,615	1.6	-2.4 (-2.4)
その他衣料品	2,825,699	2.1	-3.3
衣 料 品	43,835,797	31.9	-4.0 (-5.8)
身のまわり品	15,724,257	11.4	-4.4 (-7.5)
化粧品	7,146,513	5.2	-2.9 (-5.2)
美術・宝飾・貴金属	6,670,760	4.9	-2.9 (-2.9)
その他雑貨	7,040,183	5.1	-4.5 (-4.7)
雑 貨	20,857,456	15.2	-3.4 (-4.3)
家 具	1,893,104	1.4	-2.4 (-2.8)
家 電	2,124,457	1.5	155.4
その他家庭用品	5,263,923	3.8	2.4 (2.4)
家 庭 用 品	9,281,484	6.8	17.3 (17.2)
生 鮮 食 品	6,425,491	4.7	-4.9 (-3.1)
菓 子	9,539,439	6.9	-1.9 (-1.1)
惣 菜	8,015,870	5.8	3.7 (4.8)
その他食料品	14,434,299	10.5	-7.0 (-6.2)
食 料 品	38,415,099	28.0	-3.3 (-2.3)
食 堂 喫 茶	3,090,362	2.2	-3.3 (-3.8)
サ ー ビ ス	2,347,764	1.7	-10.7 (-13.8)
そ の 他	3,815,621	2.8	-13.2 (-13.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	5,748,355 千円	-42.3 (-42.5)
従 業 員 数	19,122 人	-8.8
店 舗 面 積	915,720 m ²	-3.1

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が3か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品。また、紳士服・洋品が2か月連続、惣菜が4か月連続、家電が5か月連続、その他家庭用品が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.0	—	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	0.5	0.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-6.1	-1.2	9か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.4	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-3.3	-0.1	43か月連続マイナス
衣料品	-4.0	-1.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	-4.4	-0.5	2か月ぶりマイナス
化粧品	-2.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-2.9	-0.1	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.5	-0.2	3か月連続マイナス*
雑貨	-3.4	-0.5	2か月連続マイナス
家具	-2.4	0.0	8か月連続マイナス
家電	155.4	0.9	5か月連続プラス
その他家庭用品	2.4	0.1	3か月ぶりプラス
家庭用品	17.3	1.0	3か月ぶりプラス
生鮮食品	-4.9	-0.2	2か月連続マイナス*
菓子	-1.9	-0.1	5か月連続マイナス*
惣菜	3.7	0.2	4か月連続プラス*
その他食料品	-7.0	-0.8	10か月連続マイナス*
食料品	-3.3	-0.9	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.3	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	-10.7	-0.2	6か月連続マイナス
その他	-13.2	-0.4	5か月連続マイナス
商品券	-42.3	-3.0	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>